

泊小学校のスタ場!!!!

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。

2025, 5, 1(木)

第7号

那覇市立
泊小学校

校内新聞



野外での虫さされに注意!!

春から夏に近づき、いろいろな昆虫や鳥などが盛んに活動し始めました。チョウやガの仲間が、花々の間をヒラヒラと飛び回る様子もあちらこちらで見られますね。

しかし、中には幼虫の時代や成虫になってから毒のある毛を持っていたり、毒針を持つものもあります。時には、野外での活動中にこれらの昆虫に刺されてひふがはれたり、炎症を起こすこともあります。気をつけて行動しましょう。

ところで、年によって大発生する幼虫の種類が違ふことがあります。ある年は、ホウオウボククチバが大量発生し、街路樹や学校に植えているホウオウボクの葉が数多く被害に遭いました。またある年はタイワンキドクガやキオビエダシャクの幼虫が大発生し、さされたりする子もいました。。

ドクガやカレハガ、ヒトリガ、イラガの仲間の幼虫やさなぎには、さわると痛そうな毛が生えています。実際に触れると、皮膚に刺さり、皮膚炎を起こす毛が混じっています。これらの幼虫は、葉のかげや木の幹にいたりして、知らないうちにさされてしまうことも多いようです。その中でもイラガの幼虫は、日本で一番強い毒を持つと言われ、さされると激しく痛み、はれもひどくなります。

もし、野外でこのような毛虫に刺されたときには、こすらないでください。

これらの幼虫の毛は、こすればこするほど折れて小さくなり、あちこちへ広がります。刺されたときには、セロハンテープなどでそっと押さえて、毛を取ってから流水で洗い流し、虫さされの軟膏などをぬります。中には、毛を持っていたても毒のない虫もありますが、油断はせず、用心していきましょう。学校や遠足などの校外学習でも木や草の近くでは注意して行動しましょう。



タイワンキドクガの幼虫



イラガの幼虫